

知財紛争の事例に学ぶ交渉と実践 (Ⅱ)

～国内外知財契約書作成実務～

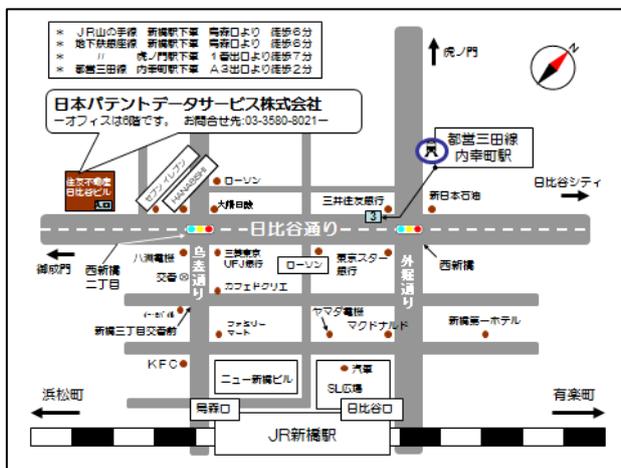
A
27

実習
あり

欧米での知財紛争への対応事例とその契約実例
国内外ライセンス契約書作成のポイントとは？

入門 ← レベル → 上級

グローバル化著しい製品市場においては、海外企業との日々の取引における様々な契約から知財紛争に対応した和解契約まで幅広く、取扱いに悩むものも少なくはありません。また、中国や韓国を含む海外企業との知財紛争では市場である米国を舞台とした訴訟ケースが多く、先鋭化する米国知財訴訟の実情を十分理解した上での対応が重要です。本講座では、数多くの特許侵害訴訟事件での交渉と契約を経験した講師が、標準的な国内ライセンス契約と共に米国訴訟を事例に実務的な英文契約書作成ルールを解説し、実習によって理解を深めます。知財の実務担当者向け（訴訟経験は問いません。）
※「知財紛争の事例に学ぶ交渉と実践 (Ⅰ)」とセット受講をお勧めいたします。(セット受講は割引 30,000 円となります。)
※「英文契約書作成実務」の名称を変更いたしました。



講 師：平山 裕之

日本ライセンス協会理事、
日本弁理士会外部監事、

元 (株)日立製作所 知的財産権本部 本部長

場 所：日本パテントデータサービス(株) セミナールーム
東京都港区西新橋 2-8-6
住友不動産日比谷ビル 6F

TEL:03(3580)8021 FAX:03(5512)7810

時 間：1 日間コース (午前 10:00～午後 4:00)

受講料：20,000 円 (税別)

定 員：24 名 (先着順申し込み)

日 程：11 月 21 日 (金)

【申込方法】 F A X または e メールでお受けいたします。FAX: 03(5512)7810 メール: chizai-semi@jpds.co.jp
(受講票をメールまたは F A X にてお送り致します。5 営業日以内に届かない節はご一報ください。)

【キャンセル】 セミナー開催日前 1 0 日以降にキャンセルされた場合には、受講料を請求させていただきます。但し、講師の都合などで急遽開催が見送られた場合には受領済みの受講料を返却させていただきます。

お申込日 年 月 日

「知財紛争の事例に学ぶ交渉と実践 (Ⅱ)」 申込書

日本パテントデータサービス株式会社 知財研修部 行き

会社名				部課名		
住 所	〒					
TEL				FAX		
参加希望日	□11 月 21 日					
受講者氏名				所属		
E-mail				特許経験	□有(年)□無	
				弁理士番号		
受講者氏名				所属		
E-mail				特許経験	□有(年)□無	
				弁理士番号		
支払方法	□単独請求書・銀行振込 □当日現金 □合算請求(お取引コード:)					
備考	※弁理士の方は弁理士(登録)番号をご記載ください。(本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。)					

セミナースケジュール（知財紛争の事例に学ぶ交渉と実践（Ⅱ））

午前 10:00 10:05	講師ご紹介 1. 米国知財訴訟の実際 －考慮すべきいくつかのポイント －有利な裁判所の選択 －提訴地選択は早い者勝ち（First Come First Served） －戦線拡大戦術 －その他のポイント
10:30	2. 特許ライセンス契約作成の実務 －標準特許ライセンス契約とその構成 －特許ライセンス契約の主要条項とポイント －技術/KHライセンス契約の主要ポイント
11:45	昼休憩（演習課題配布）
12:45 14:00	午前の続き 3. 演習 （その1）技術/KH契約書の定義と主要条項作成実務 （その2）世界の半導体企業を震撼させた Dr. Li サブマリン特許訴訟事例 ～訴訟をテコにした権利行使にどう対応するか？～
14:20	休憩
14:30 15:30 15:50 16:00	（演習つづき） 演習ケースの解説 質疑・応答 終了

【備考】

- ・ 一部演習を伴います。
- ・ セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。可能な限りお答えさせていただきます。